

令和6年度

地理歴史科（歴史総合）

北海道穂別高等学校

シラバス

科目名	歴史総合	履修学年	2 学年 (必修・選択)
教科担任	折 原 拓 真	単位数	3 単位
教科書名	歴史総合（実教出版）	副教材	新詳 歴史総合 (浜島書店)
教科目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。		
科目目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。		
学習方法	授業の前に教科書を一読し、学習内容を把握すると理解度が高まります。また、授業後使用したノート・プリント等に目を通し、繰り返し復習することで、年4回の定期試験と日常の授業に対応することができますのでそのような学習を心がけてください。評価は、考査、課題・プリント、小テスト、その他の諸課題の取り組み内容、ノート提出などで総合的に判断します。		

科目全体の評価の観点及び方法

評価の観点		主な評価方法
①知識・技能	近現代史における歴史的事象の基本的な知識を時代の流れや各単元のテーマに沿って理解することができたか。また、習得した知識を活用し、諸資料を適切に読み取り、情報をまとめる技能が身につけることができたか。 (評価の割合 4 割)	a 試験 c 課題・プリント d 小テスト
②思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意義を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史上の課題に向けて構想したりする力や、構想したことを効果的に説明する技能を身につけているか。 (評価の割合 3 割)	b 授業態度 c 課題・プリント e その他
③主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、日本国民としての自覚と国の歴史に対する愛情を身につけているか。 (評価の割合 3 割)	b 授業態度 c 課題・プリント e その他

※評価方法【a 考査 b 授業態度 c 課題・プリント d 小テスト e その他】

特に重視する方法

年間学習計画

単 元	近代化と私たち（予定時数 40 ）
主な学習内容（活動）	歴史の扉 第1章 近代化への胎動 第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成 第4章 帝国主義の時代
評価の観点と評価方法	①交通と貿易、産業と人口と政治参加や国民の義務など近代化に伴う生活や社会の変容について理解する。また、アジア諸国とその他の国や地域を比較し、近代化の歴史を多面的に理解する。 ※評価方法：定期考査、課題・プリント、小テスト
	②交通と貿易、産業と人口と政治参加や国民の義務など近代化に伴う生活や社会の変容について考察する。また、アジア諸国とその他の国や地域を比較し、近代化の歴史を多面的に考察する。 ※評価の方法：授業態度、課題・プリント、その他
	③身近な諸事象と日本や世界の歴史とのつながりを理解し、関連性について考察する中で、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 ※評価方法：授業態度、課題・プリント、その他

単 元	国際秩序の変化や大衆化と私たち（予定時数 40 ）
主な学習内容（活動）	第5章 第一次世界大戦と大衆社会 第6章 経済危機と第二次世界大戦
評価の観点と評価方法	①国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身につけている。 ※評価方法：定期考査、課題・プリント、小テスト
	②国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料を活用して、国際秩序の変化や大衆化にともなう生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 ※評価の方法：授業態度、課題・プリント、その他
	③国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったり、まとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりすることにより、興味を持ったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだそうとする。 ※評価方法：授業態度、課題・プリント、その他

単 元	グローバル化と私たち (予定時数 25)
主な学習内容 (活動)	第7章 冷戦と脱植民地化 第8章 多極化する社会 第9章 グローバル化と現代世界
評価の観点と評価方法	①冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身につけている。 ※評価方法：定期考査、課題・プリント、小テスト
	②冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料を活用して、グローバル化にともなう生活や社会の変化について考察し、問いを表現している。 ※評価の方法：授業態度、課題・プリント、その他
	③冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料から情報を読み取ったり、まとめたり複数の資料を比較したり関連付けたりすることにより、興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。 ※評価方法：授業態度、課題・プリント、その他